

令和4年〇月〇日

公益財団法人えひめ産業振興財団  
理事長 大塚 岩男 様

住 所 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3  
法人名 株式会社 愛媛財団  
代表者名 代表取締役 愛媛 太郎 印

令和4年度愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金  
応募申込書

令和4年度愛媛グローバルビジネス加速化支援事業費補助金交付要綱第8条の規定により、  
次のとおり応募申込書を提出します。

## 記

## 1 添付書類

申請書類	その他
1.別紙1(事業の概要)	①納税証明書（正本1部） 愛媛県が課税するすべての県税 （個人県民税及び地方消費税を除く。） に未納がないことを証するもの ②積算根拠書類等（各写し1部） ③定款（写し1部） ④登記事項証明書 （正本1部、応募日より3か月以内に発行されたもの） ⑤直近3期分の決算書（各写し1部） ⑥履歴事項全部証明書※ （正本1部、応募日より3か月以内に発行されたもの） ※補助金を応募する法人の代表者及び補助金応募に係る担当者がその他の法人の役員に就任している場合の当該法人。
2.別紙2(収支計算)	
3.別紙3(提出者の概要)	
4.別紙4 （反社会勢力でないことの誓約書）	
5.その他	

## 2 連絡先 ※連絡が付きやすい電話番号、メールアドレスを必ず記入ください。

電話番号	(123)456-7890
ファックス番号	(234)567-8901
メールアドレス	xxx@xxx

※用紙の大きさは日本工業規格A4とする。

## 事業の概要

項目	内容
1. 事業名	※第三者にも分かりやすい事業名を簡略に記入してください
2. 事業実施期間 (事業完了予定日)	交付決定日～ 令和5年2月28日 ※原則の補助期間である令和5年2月末日までで任意に設定してください
3. 目的	代表者は愛媛県出身であり〇年より東京都において就職していたが、出身地である〇〇においては若年層の域外流出が顕著となり地域の高齢化が進んでいることから、東京において習得した〇〇の知識・技術を活かし、〇〇において創業し法人を設立。 今回、〇〇を実施し地域の活性化に貢献したいと考えている。
4. 解決する地域課題	※どのような地域課題があり、現状はどのようなになっているかを記入してください  愛媛県〇〇地域においては、自身が生活していた〇〇年から見ても高齢化・過疎化及び人口減少が進行している状況にあり、地域経済の衰退が顕著となっている。 また、〇〇の産地として知られた〇〇地域では、高齢化に伴い〇〇を栽培する農家が減少し、耕作放棄地が増加している状況にある。
5. 活用する地域資源	※活用する地域の資源を記入してください  〇〇地域は〇〇の産地として、全国的に認知度も高い。 また同地域は豊かな自然に恵まれ、〇〇以外にも多くの農産物が栽培されており、これらの一次産品を地域資源として活用し、事業を展開する。
6. 事業概要  ※事業化 (事業拡大を含む)に 向けた取組の内容及び 商品・サービスの概要	※地域課題を解決するために地域の資源を活かして実施する事業の概要を分かりやすく記載してください  現在〇〇地域においては若者の域外流出が加速し、高齢化が顕著になってきている。 このことを受け、〇〇地域の産業である一次産業は後継者不足により衰退の一途をたどっており、耕作放棄地が大幅に増加していることから新たな対策が必要である。 この現状を打開し〇年後の〇〇地域における地域活性化を目的として〇〇地域において生産され、全国的に知名度の高い〇〇等を活用した新商品を開発のうえ販路を拡大の上、〇〇の需要拡大を図り耕作放棄地を活用した〇〇の生産量を拡大及び地域活性化に寄与する。
7. 事業の独自性・ セールスポイント  ※類似事業の有無、 その事業との違い (優位性及び弱点)	※今回実施する事業の新規性、セールスポイントを記載してください 〇〇に〇〇の処理を行うことにより従来の香りが保たれ、風味のある〇〇の商品開発が可能となる。 また可能な限り現在破棄されている規格外品を使用することにより、生産者への利益還元に結び付ける。 ※また類似の事業にどのようなものが考えられ、比較した際の優劣等、できるだけ多面的に記入してください ・類似事業 ..... ・優位性 ..... ..... ・弱点 ..... .....
8. 本事業の課題及び 解決策	①人材確保 ..... ②設備投資資金 ..... ③未収穫時期における対応 .....

<p>9. 市場規模</p> <p>※ターゲット層、顧客数、対象エリア、市場の状況、将来性等</p>	<p>※どのような顧客層をターゲットとするのか各種統計資料などを参考に市場ニーズの背景などを踏まえて、必要に応じて図表等も挿入しつつ現状や将来性について記入してください</p> <p>事業で製造販売する〇〇は、・・・・・・から見ても、商品の購買におけるターゲット層が〇〇であり、〇〇市場における既存商品との棲み分けにより新たな販路が見込まれる。</p> <p>また、本製品の属する〇〇市場の規模は、〇〇年の調査によると〇〇であるが、〇〇市場の需要はインターネットなどの情報通信網の発達を背景としてターゲット層を中心に需要が伸び、その市場は拡大すると期待できる。</p> <p>【参考資料】 〇〇年〇〇調査 (出典：〇〇)</p> <p>※項目は左記のものに限るものではなく、任意で追加・削除してください</p> <p>■ターゲット層 当該商品の購入対象として期待できるのは、〇〇から〇〇歳代の〇〇層。 ただし、購入する商品については素材やデザインの良さを理解し、ある程度の人的ネットワークを所有していると考えられる層を中心に顧客層とする。</p> <p>■顧客数 〇〇年の〇〇統計資料から推察できる顧客数は〇〇人である。 【参考資料】 〇〇年〇〇 (出典：〇〇)</p> <p>■対象エリア 営業活動については〇〇を中心とするが、ターゲットである〇〇を有する人的ネットワークを通じた口コミやホームページ開設による宣伝効果を活かし、全国を対象とする。</p> <p>■市場の状況 〇〇市場規模はバブル崩壊後縮小し続けたが〇〇年によりやく歯止めが効き、前年に比べて〇〇%増の〇〇億円となっており、〇〇年頃までは増加傾向にあると予測されている。 【参考資料】 〇〇年株〇〇統計調べ</p> <p>■将来性 本事業で製造販売する〇〇は従来の類似品とは異なり、〇〇という付加価値を付けた新商品として差別化を図り、新たな市場を開拓することで新たな地域ブランドを構築することができる。</p>															
<p>10. 販売方法等</p> <p>※顧客確保の方策、販売価格、販売方法、PR方法等</p>	<p>※項目は左記のものに限るものではなく、任意で追加・削除してください</p> <p>■顧客確保の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示即売会や商談会を通じた新規顧客の開拓</li> <li>・ホームページによるインターネットを利用した新規顧客の獲得</li> <li>・既存顧客等からの口コミによる紹介</li> </ul> <p>■販売価格 各年代における嗜好や特性に応じた商品化を行い、価格を設定する。</p> <table border="1" data-bbox="432 1379 1083 1547"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>デザイン</th> <th>価格 (単位：円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代</td> <td>A</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>B</td> <td>F</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>C</td> <td>G</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>D</td> <td>H</td> </tr> </tbody> </table> <p>■販売・PR方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東圏におけるバイヤーへの営業活動</li> <li>・展示会出展やコンテストへの出品によるPR</li> <li>・その他各種メディア等への掲載</li> </ul>	対象	デザイン	価格 (単位：円)	20歳代	A	E	30歳代	B	F	40歳代	C	G	50歳代	D	H
対象	デザイン	価格 (単位：円)														
20歳代	A	E														
30歳代	B	F														
40歳代	C	G														
50歳代	D	H														
<p>11. 法人の概要</p>	<p>法人名：株式会社愛媛組団          設立日：令和〇年〇月〇日          代表者：愛媛 太郎          役員名：2名 (愛媛花子、愛媛二郎)          資本金：〇〇〇円</p>															
<p>12. 事業実施場所</p>	<p>〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3</p>															

13. 事業に関する 代表者の経験・能力・資格等	代表者 生年月日 平成〇年〇月〇日生 (〇歳) ※申請日現在 職 業 株式会社愛媛県代表取締役  本事業に関する経験等 〇年に株式会社愛媛県を設立し、〇〇事業を経営・従事
14. EGFアワード応募状況	EGFアワード2020-2021へ応募 〇〇賞を受賞 事業名「……………」

①補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

※別紙2により算出した(A)(B)(C)より金額を転記してください。

項目	詳細	金額	
(A)	補助事業に要する全経費		円
(B)	補助対象経費		円
(C)	補助金申請金額		円

②成果目標

補助期間中の売上計画額
〇〇〇円

③事業スケジュール

ア 補助事業期間の事業スケジュールを具体的に記載してください。

令和4年〇月：マーケティング調査実施 〇月：新商品企画 〇月：試作品製作 令和5年〇月：法人設立 〇月：商品製造・販売開始
---

イ 補助事業期間終了後の事業展開予定・スケジュールに雇用計画、収支見込を含め、将来展望について、その概要を記載してください。

令和5年〇月：販売数〇〇確保 令和6年〇月：新たに従業員〇名を雇用
--------------------------------------

④補助内容及び効果の見込み

補助事業を活用することにより本事業により導入した〇〇〇の設備備品を活用して、自社での一貫製造体制が構築でき、より迅速な顧客対応型のビジネスが実現できる。 また、展示会出展やHP製作により、商品の訴求効果が得られ、成果（売上）目標を達成するためのツールとして欠かせないものとする。
--

⑤事業実施に必要な許認可等の内容及びその見込

※許認可が必要な事業については許認可内容と取得見込時期等を記入してください

⑥補助金の交付を受けた実績又は申請中の補助金

※応募事業に関連して従来補助金の交付を受けた実績や現在申請中の他の補助金があれば、その名称、交付者、交付金額及び交付年度を記入すること。

※例：小規模持続化補助金 等

※それぞれの記入欄については、適宜、枠を調整するとともに、「別紙1-1/事業の概要」から「⑥補助金の交付を受けた実績又は申請中の補助金」まで、**【別紙1が合計4枚以内】**に収まるようにしてください。

記載しきれない内容については追加資料（枚数制限なし）で対応して下さい。

## ○事業経費一覧表(全体)

(単位:円)

経費区分	名称	積算内訳	補助事業に 要する経費(A)	補助対象経費(B) (消費税を除く)	補助金交付 申請額(C)
(1) 人件費	パート賃金	時給1,000円 5h×1名×20日	100,000	100,000	
	計		100,000	100,000	66,666
(2) 店舗等借料	店舗借料	店舗家賃55,000円 ×7カ月	385,000	350,000	
	計		385,000	350,000	233,333
(3) 設備費	パソコン	〇〇製	110,000	100,000	
	調理台	〇〇製	550,000	500,000	
	計		660,000	600,000	400,000
(4) 原材料費	試作品用原料	〇〇(試作品用)	110,000	100,000	
	計		110,000	100,000	66,666
(5) 借料	コピー機リース	リース料55,000円 ×7カ月	385,000	350,000	
	計		385,000	350,000	233,333
(6) 知的財産権等 関連経費	商標登録経費	弁理士経費	110,000	100,000	
	計		110,000	100,000	66,666
(7) 謝金	技術者謝金	開発指導者謝金	110,000	100,000	
	計		110,000	100,000	66,666
(8) 旅費	展示会旅費	〇月展示会参加旅費 (松山⇄東京)	330,000	300,000	
	計		330,000	300,000	200,000
(9) 外注費	ホームページ作成	製作外注費	330,000	300,000	
	計		330,000	300,000	200,000
(10) 委託費	市場調査委託	委託料	330,000	300,000	
	計		330,000	300,000	200,000
(11) マーケティング 調査費	展示会出展費	小間料	330,000	300,000	※最大266,666円から 調整
		装飾費	110,000	100,000	
	計		440,000	400,000	200,004
(12) 広報費	パンフレット作成	パンフレット1,000枚	110,000	100,000	
	計		110,000	100,000	66,666
合計			(A) 3,400,000	(B) 3,100,000	(C) 2,000,000

※(C)が限度額2,000,000円を超過する場合、項目毎に2/3以内の金額で調整してください

※(C)の計算時に1円以下の小数点以下の金額が発生する場合は切捨てとさせていただきます

## ○資金計画(全体)

(単位:円)

区分	補助事業に要する経費(A)	資金調達先
補助金	2,000,000	(公財) えひめ産業振興財団
自己資金	400,000	
借入金	1,000,000	〇〇銀行
その他		
合計額	3,400,000	

※補助対象に該当する期間の事業経費及び資金計画を記入のこと

## ○損益計算及びキャッシュフロー計算

(単位：千円)

決算期		令和5年〇月期決算	令和6年〇月期決算	令和7年〇月期決算
項目				
前期繰越金(A)		1,000	1,450	1,910
収入	売上	500 5千円/日×100日	1,400 7千円/日×200日	1,800 9千円/日×200日
	その他の収入	500 既存事業実績並を想定	500 既存事業実績並を想定	500 既存事業実績並を想定
	収入合計(B)	1,000	1,900	2,300
支出	仕入原価	150 原価率30%	280 原価率20%	360 原価率20%
	人件費	100 パート1名	200 パート2名	200 パート2名
	その他の支出	2,840 補助事業2,640 既存事業200	760 売上40%を想定	920 売上40%を想定
	支払合計(C)	3,090	1,240	1,480
減価償却費(D)		220 補助事業設備費：償却3年	220	220
当期収支差額(E)(B-C-D)		▲2,310	440	600
助成金(F)		2,000		
自己資金(G)		400		
借入金(H)		1,000		
設備投資(I)		660		
借入金返済(J)		200	200	200
次期繰越 (A+B-C+F+G+H-I-J)		1,450	1,910	2,530

※収入及び支出については積算内訳を明記すること。

提出者の概要

法人名			創業	年 月 日		
代表者						
住所						
資本金	円		従業員	人		
株主の状況	株主氏名	住所	持株数	比率	備考	
主要生産・販売品目及び金額	品名	生産金額(千円)				
		最近決算期			前決算期	
	自 年 月 日	自 年 月 日	至 年 月 日	至 年 月 日		
現有施設		用途	所在地		面積	
	土地					
	建物	用途	建物の構造		面積	
	主要設備	機械又は装置	用途		台数	備考

○これまでの収支状況(直近3年間について記入)

	年 月 期	年 月 期	年 月 期
売上高	千円	千円	千円
経常利益	千円	千円	千円

○事業への協力者

地元市町、商工会議所、地域グループなど申請事業に関する協力者を記載してください。

令和4年〇月〇日

公益社団法人えひめ産業振興財団  
理事長 大塚 岩男 様

住所 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3  
法人名 株式会社 愛媛財団  
代表者名 代表取締役 愛媛 太郎 印

### 暴力団排除に関する誓約書

私は下記のいずれにも該当しません。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても異議は一切申し立てません。

#### 記

- 1 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- 2 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- 3 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- 4 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき